

令和元年7月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年7月分について、輸出は「半導体等電子部品」、「非鉄金属」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「電気回路等の機器」、「科学光学機器」などが減少したことから対前年同月比11.1%の減少となった。また、輸入は「事務用機器」、「航空機類」などが増加したものの、「半導体等電子部品」、「有機化合物」、「医薬品」などが減少したことから、同5.4%の減少となった。

その結果、差引額は200億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	735億円	▲11.1%	935億円	▲5.4%	▲200億円	+23.5%
	4カ月連続の減少		3カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 半導体等電子部品	74億円	+25.8%	輸入	増加品目	(1) 事務用機器	40億円	+94.0%	
		(2) 非鉄金属	6億円	+63.4%			(2) 航空機類	58億円	+20.3%	
		(3) 航空機類	14億円	+19.6%			(3) 原動機	115億円	+9.1%	
	減少品目	(1) 自動車の部分品	20億円	▲71.3%		減少品目	(1) 半導体等電子部品	53億円	▲45.6%	
		(2) 電気回路等の機器	30億円	▲38.0%			(2) 有機化合物	16億円	▲68.1%	
		(3) 科学光学機器	38億円	▲23.1%			(3) 医薬品	180億円	▲5.8%	
	主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが減少				主要地域 増減	EU、アジアが減少、アメリカは増加			

（参考）ドルレート・・・108.00円（前年 110.78円）2.5%の円高ドル安

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。